令和4年5月27日

　　　　　　　様

ウイグルを応援する全国地方議員の会
会長代行　小坪慎也

中国側発表にて、我が国が一帯一路と締結したかのような
外交宣伝がされていることに対し是正と調査を求める要望

　大阪府市が共同設置する大阪港湾局が人口１１００万人を擁する中国武漢市（湖北省）とパートナシップ協定を締結したことで、中国側では我が国が一帯一路に組み込まれたかのような発表がなされております。ウイグル問題を取り上げてきた“ウイグルを応援する全国地方議員の会”としては黙過できる案件ではなく、経済安全保障法制が制定されたことを受け、国においても調査と是正を強く求める次第です。

中華人民共和国駐日本国大使館は2021-12-17 19:55において本調印式を“中国湖北―日本関西江海連運帯路互通協力プロジェクト”の文言を標題に付して発表しており、武漢のある「湖北」省、および日本「関西」（大阪港湾）、「帯路」とは一帯一路の略号であり、明確に中国の国策だと断じざるを得ません。本件を重く見た木下𠮷信・大阪市議（８期、政令市議連・前会長）は質問主意書を提出し、本MOUの締結をコロナ禍においても急いだ理由を問うたところ、「（前略）武漢港のある湖北省が令和３年１２月１６日に東京都で開催される（当該協力説明会）に合わせて締結を行いたいとの意向がありました。」と公式に回答し、さらに「先方の意向に合わせた日程により締結を行ったものです。」と中国側の意向であったことを認めております。

人民網（中国共産党中央委員会の機関紙を発行元である人民日報社が運営）でも報じられており、『「中国湖北-日本関西　地域のSer＆River一貫輸送相互通航 協力プロジェクト」調印式』の表題で、同媒体からは非常に好意的に書かれています。記事は具体的で、「武漢を中心にして海と川（長江と思われる）大阪および他日本都市と繋ぎ、コンテナを直接輸送する国際輸送ルートと紹介し、国際定期貨物列車と接続し、日本—武漢—中央アジア（欧州）のグローバル物流クローズド・ループを形成し、地域経済の交流、協力が促進されると期待されている。」とまで書かれております。

この中国側の発表は、スエズ運河・パナマ運河を経由せずに我が国と欧州の鉄軌道を構築し、中国の支配下にある西側諸国以外の世界物流網を構築したいという意図であり、当会および多くの地方議員は警戒しております。日米で協議した内容と大きく矛盾します。

日本の中心部に位置する大阪港湾群が武漢と強力に連結された場合、この中国側発表の文書は読みようによっては「日本列島そのものを一帯一路に組み込みたい」とすら感じさせる文章でした。この点は、他の港のMOUや協定とは異なった部分であると受け取った者が多く、地元大阪府議会・大阪市議会を含め近隣地方議員からも大きな不安の声があがっております。MOUは議決事項ではなく、法的拘束力もないことはいずれの議員も理解しておりますが、ここまでの背景があるにも関わらず、議会は何の説明も受けていなかった事実が明らかとなっております。自民党の大阪府議は、本件に関するアンケートに対し府議団として文書回答し、本件について丁寧な説明がなかったこと、当初の関連資料に一帯一路の記載があったことを知らされていなかったと回答しています。

近隣では、神戸港も同様に武漢港と協定を締結しておりますが、ここまで踏み込んだ背景はなく、都度都度の更新手続きが必要であり本年が更新年となっております。実は神戸市議会においても協定締結に関しては行政から説明がなされていなかったことが明らかとなっており、自民党神戸市議らもネット上に批判的投稿し話題となっております。神戸市会は自民党の発言力も強いため再更新は難しく、失効する公算が高いとの見方もなされています。

まことに不思議なことではありますが、一帯一路を破棄した豪州の事例の場合も“中国は地方行政単位で水面下で締結”を進めてり、かつ最終的には議会側が問題視したという経緯は、大阪府会・大阪市会および神戸市会の事例と奇妙な類似性がございます。

　豪州ほどには強力な法整備ではないことは認識しており、我が国ではどのような判断が下されるかは分かりませんが、オーストラリアの場合には、最終的には州政府の協定を国家として破棄したことは事実であり、ペイン外相は「（同国の）外交方針と一致しないか、外交関係に有害なものだ」と説明。ヴィクトリア州政府が協定を締結したことに対しては、当時のマイク・ポンペオ国務長官から批判を受けたと報じられております。
　オーストラリアの事例においては“議会が動いて明らかとなった”ことは国際的な事実であり、大阪港湾局を共同設置している大阪府会・大阪市会に対し、また地方議員に対しても強い期待の声があがっている次第です。

昨今、国際社会で一帯一路の影として債務の罠、環境汚染、汚職、労働搾取をはじめとした人権問題が問題視されており、特に武漢―欧州間の鉄軌道においては東トルキスタン（ウイグル自治区）のウルムチを通ることから、まさに世界で問題となっている強制収容所における奴隷労働を加速させる危険性を危惧しております。

MOUそのものに拘束力がなかったとしても、すでに外交宣伝に使われている事実は消えず、本件に対して国家として意思表示を示して頂けるよう是正および調査を強くお願いいたします。